

対マラウイ共和国 事業展開計画

2025年 4月 現在

基本方針 (大目標)	貧困からの脱却と経済的自立を後押しする基盤づくり
---------------	--------------------------

重点分野 1 (中目標)	産業育成および経済インフラ整備
-----------------	-----------------

開発課題 1-1 (小目標) 産業育成	【現状と課題】 マラウイの農業はGDPの25.2%、輸出総額の約80%を占める。全成人の約75%が農業及び農業関連産業に従事しているが、農家の約90%は耕地面積が1ha未満の小農で、人口増加に伴い一人あたりの耕地は減少傾向にある。また、主要換金作物であるタバコは輸出の約半分を占めるものの、近年欧米を中心に需要が減少してきており、タバコへの過度の依存から市場ニーズに合わせた収益性の高い農産物への転換が求められている。さらに、灌漑開発の遅れから農業生産は干ばつなどの影響を受けやすく、経済が天候に大きく左右される。 マラウイは基幹産業である農業の生産性向上と商業化を通じた所得向上を目指しているが、自給自足的な農業からの脱却のため、灌漑などのインフラ整備の他、生産の安定、加工、販売などのバリューチェーンの構築が課題となっている。		【開発課題への対応方針】 同国の長期開発目標「マラウイ2063」では、農業の生産性向上と商業化が三つの柱の一つに掲げられているところ、アフリカで我が国協力実績のある稲作分野において技術協力及び農業インフラの整備を実施することで、栽培技術の改善と生産性の向上を支援する。あわせて、収益性の高い農産物の栽培、生産の安定、加工、販売などのバリューチェーンの構築、アグリビジネスの振興の取組を通じ、農業の商業化を支援する。										
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2024 年度以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度				
		マラウイ国ルフィリア灌漑改修・拡張計画準備調査	協準	■	■	■						1,2	
		コメ生産及びマーケティングの促進プロジェクト	技プロ	■	■	■	■	■	■	■	■	5.15	1,2
		カイゼンアプローチを活用した産業化促進プロジェクト	技プロ									8,9,17	
		南部アフリカ農業バリューチェーン強化事業	有償	■	■	■	■	■				1,2,9	
		マラウイ国未利用資源の活用によるムジンバ県の小農の農業収入向上支援	草の根技協	■								1,2	
		経済社会開発計画(農業肥料供与)	無償	■							6.50	1,2	
		農業開発分野の課題別研修	課題別研修他		■							1,2	
	農業開発分野等の青年海外協力隊派遣(コミュニティ開発等)	JOCV		■	■						1,2		
	食料安全保障のための農業ネットワーク(Agri-Net)	長期研修	■	■	■						1,2		

開発課題 1-2 (小目標) 人材育成	【現状と課題】 「マラウイ2063」は、農業のほか、鉱業、観光業などの振興を目指している。鉱業ではウラン、ルチル、レアアースなどの埋蔵が確認されているが、産業構成ではGDPの1%に満たない。また、観光業はかつてはGDPの7%を占め、貴重な外貨獲得源であったが、コロナ禍以降その割合は激減した。 基幹産業である農業をはじめ、鉱業、観光セクターの成長のため、産業育成や経済社会開発を担う、マネジメント能力を備えた人材の育成が大きな課題となっている。		【開発課題への対応方針】 マラウイの産業育成や経済社会開発を担う人材の育成は、同国の経済的自立の要となっていることから、研修・留学事業等を通じた能力開発を支援する。								支援額 (億円)	SDGs	備考
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間									
				2024 年度以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度				
	人材育成プログラム	公共投資計画能力向上アドバイザー	個別専門家	■	■								
		資源の絆プログラム	長期研修	■	■	■	■	■					
アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)		長期研修	■	■									
SDGsグローバルリーダー		長期研修	■	■	■	■	■						
開発課題 1-3 (小目標) インフラ整備	【現状と課題】 マラウイの電化率は14.2% (2021年) と、サブサハラ・アフリカの平均 (50.6%) と比較しても極めて低い。2023年の国内総発電設備容量は535.9MWで、ピーク時の需要予測 (719MW) を大きく下回っている。マラウイ政府は、2030年までに電化率を30%まで引き上げることを目指しているものの、こうした経済基盤の未整備は、投資促進や産業化にも大きな足かせとなっている。また、水道サービスに関しても、都市部では水源の確保や無取水対策が課題となっている。 さらに、内陸国であるマラウイは、物流の約90%を陸路に頼っているが、交通インフラが十分に整備されていないことから、物流コストは高い。加えて、近年、サイクロンが度々上陸し、これらの社会経済インフラに甚大な被害をもたらしている。		【開発課題への対応方針】 電源開発、送配電網整備などの電力インフラをはじめ、都市給水や運輸交通など、経済活動の基盤となるインフラの整備を支援する。あわせて、気候変動に対する社会の強靱性の構築を念頭に、インフラの整備、維持管理、資源の保全に必要な能力開発を支援する。								支援額 (億円)	SDGs	備考
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間									
				2024 年度以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度				
	インフラ整備プログラム	リロングウェ市内における変電所改修計画	無償	■									
		南部アフリカパワープール促進のための広域連携強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■						
		インフラ・電力分野等の課題別研修	課題別研修他	■	■								
		空港維持管理能力強化プロジェクト	技プロ	■	■								
		リロングウェ市幹線道路改修計画	無償	■	■								
		電子マネーを用いた持続可能な給水システムに関する普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■							
		ザラニヤマ森林保護区の持続的な保全管理アドバイザー	個別専門家	■	■								
		リロングウェ市無取水対策能力強化プロジェクト	技プロ	■									
		マラウイ湖国立公園における統合自然資源管理に基づく持続可能な地域開発モデル構築プロジェクト(SATREPS)	科学技術	■	■	■							
		環境保全分野の課題別研修	課題別研修他	■	■								
水分野等の課題別研修	課題別研修他	■	■										

重点分野 2 (中目標)	基本的社会サービスの向上											
開発課題 2-1 (小目標) 教育	【現状と課題】 マラウイは全ての子どもに12年間の正規教育を受けさせることを目指しており、初等教育無償化により就学率は88%に達したが、修了率は56%であり、基礎的な読み書きや算数をはじめ、教育の質に課題が残る。マラウイの人口増加は著しく、同国の成長基盤となる基本的社会サービスの整備は追いついておらず、教員や教材・施設の不足も深刻である。					【開発課題への対応方針】 日本は、これまで主に中等教育の質向上を目指して教員養成や能力向上に協力してきたが、今後、これまでの協力の成果を活用することを視野に入れつつ、初等教育についてもコミュニティ協働型の教育の質の改善を軸に協力を実施する。						
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2024 年度以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度			
		みんなの学校(住民参加型教育開発)プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			5.00	4	
		マラウイ共和国における教師の専門職学習コミュニティネットワークの構築	草の根技協	■							4	
		マラウイ農村部における就学前教育アクセスの向上と質の改善	草の根技協	■	■						4	
		ライフスキル教育を基盤とした子どもの教育と健康・安全を保障する活動形成	草の根技協	■	■	■					4	
		教育分野の課題別研修	課題別研修他	■	■						4	
		教育分野の海外協力隊派遣(小学校教育、環境教育、青少年活動等)	JOCV		■	■					4,13	
	弱者支援分野等のJICA海外協力隊派遣(障害児・者支援)	JOCV		■	■					4,10		
	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.28	4,5		
開発課題 2-2 (小目標) 保健・衛生	【現状と課題】 マラウイは全ての子どもに12年間の正規教育を受けさせることを目指しており、初等教育無償化により就学率は88%に達したが、修了率は56%であり、基礎的な読み書きや算数をはじめ、教育の質に課題が残る。マラウイの人口増加は著しく、同国の成長基盤となる基本的社会サービスの整備は追いついておらず、教員や教材・施設の不足も深刻である。					【開発課題への対応方針】 日本は、これまで主に中等教育の質向上を目指して教員養成や能力向上に協力してきたが、今後、これまでの協力の成果を活用することを視野に入れつつ、初等教育についてもコミュニティ協働型の教育の質の改善を軸に協力を実施する。						
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2024 年度以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度			
		5S-KAIZEN-TQMを通じた保健医療サービスの質向上のアフリカ地域広域展開促進	個別専門家	■	■						3	
		水系感染症及び洪水に強靱な水・衛生計画策定プロジェクト	開発計画		■	■	■			4.45	3,6	
		保健分野等の課題別研修	課題別研修他	■	■						3	
		保健分野等の海外協力隊派遣(看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師等)	JOCV	■	■						3	
		マラウイ農村部におけるサステナブルな衛生環境の向上支援事業	草の根技協	■							6	
		地域コミュニティによる持続可能な保健栄養グループ活動強化プロジェクト	草の根技協		■	■					2,3	
	保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■						0.19	3		

その他 個別の案件	エルニーニョ現象の影響を受けている農村に対する緊急農業支援	マルチ						0.69	1,13	FAO
	マラウイにおける脆弱世帯への食料支援	マルチ						1.04	1,2	WFP
	マラウイ国家基準局(MBS)のキャパシティビルディングを通じたゴマ輸出促進	マルチ						1.39	2	WFP
	リコマ島、カタベイ及びマンゴチ県における湖畔の国境警備とマラウイへの定住の強化	マルチ						0.50	10,11	IOM
	マラウイのザレカ難民キャンプにおける脆弱層の保護と支援:エルニーニョ現象の影響への対応とレジリエンス強化	マルチ						0.41	1,2	UNHCR
	食糧援助(WFP)	無償		████████				3.00	1,2,13	WFP

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別専門家)、「国別研修」(＝課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力をスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(＝実施期間)、「破線「- - -」」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf